

(別紙1)

事業計画書

事業名	シニア活動応援事業
事業の実施期間	令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで
団体名	明石いきいき倶楽部
(1) 事業の目的	
①解決しようとする社会課題もしくは実現しようとする地域の共同利益	
<p>※ この活動を行うきっかけとなった社会課題や地域課題を記入してください。</p> <p>この〇〇は、〇〇駅から近い住宅街として戦後、急速に家が立ちはじめ、現在では、住宅密集地として、古いアパートや家が立ち並んでいる。住民の大半は高齢になり、高齢者夫婦世帯、ひとり暮らし高齢者が急速に増えてきており、日中独居の高齢者も多い。</p> <p>一方で高齢者が日中活動できる場所は少なく、高齢者同士が交流できる機会も少ない。家に閉じこもりがちになることで、身体機能が低下し、要介護状態に至る高齢者を数多く見てきたため、何かできることはないかと思うようになった。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>👉 地域でどのようなことが問題になっているかについて、事情や背景がわかるように書いてください。</p> </div>	
②事業を実施することによって①の課題や共同利益をどのような状態にするのか。	
<p>※ どのような状況が望ましいか、目指す目標を記入してください。</p> <p>身近な人でなければ、見えない課題が多く、このような課題を早期に発見するには、周囲がお互いに気付き合える環境こそが大事だと考えた。高齢者の居場所となる空き家（自己所有）サロンを開設することで、お互いが気付き合える環境をつくり、もしもの時には、そっと寄り添えるような関係づくりを目指したい。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>👉 事業を開始するに至るきっかけなどを振り返りながら、活動を通して何を目指すのか、目標とする姿を書いてください。</p> </div>	
(2) 事業の内容	
①対象者・対象地域	
<p>※ 活動の対象者について、年齢層・人数などを記入してください。</p> <p>○年齢・性別・地域は問わない。現在の参加者は、近隣に住む高齢者のみであるが、今後は、子どもを抱える母親や障がいを持っている方など、幅広く誰でも参加できるよう工夫していきたい。</p> <p>○スペースの関係もあるが、人数10～15人程度。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>👉 現在の状況と今後の予定を含め、両方を書いてください。</p> </div>	

②どのような事業をどのような方法で行うのか。

※ 課題をどのようにして解決するのか、具体的な内容、実施方法を記入してください。

当面は、週1回、火曜日の午後開催を活動のベースにしたい。当番制で開催の準備を行ない、参加者同士が気楽におしゃべり、お茶会、折り紙、手芸等を行なう。

サロンの入り口には、「誰でも気楽にどうぞ！」の看板を掲げ、看板を見た通りすがりの人も訪れることができるようにし、「誰でもいつでも」をモットーにすることで新たな出会いが生まれるよう工夫したい。

サロンを欠席した人に対しては、メンバーが随時連絡を入れるなど、見守りと安否確認もあわせて行っていきたい。

 **活動内容について、今後の抱負などを含め、できるだけ詳しく書いてください。**

③期待される効果

※ この活動を行うことによって、何を実現し、現状がどのように改善できると考えているかについて記入してください。

この場所が周知され、参加者が増えることによって、日頃から挨拶を交わしたり、世間話をしたりといった地域の交流につながる。関係が深まることで、お互いに健康状態を気遣ったり、生活していくうえでの困りごとを相談し合えるようになる。サロンの活動にとどまらず、いずれは、生活支援などお互いが親身になって助け合えるような関係を目指したい。

 **活動を通して、参加者をはじめ、周囲がどのように変わっていくのが望ましいと考えるのかを書いてください。**

(3) この事業終了後における事業の継続方法（自立、継続的に活動するためにどのような工夫をするかを記入）

※ 補助金終了後の事業展開について具体的に記入してください。

参加者からは、1回300円の参加費を支払ってもらい、収支を安定させることで継続して自立した運営を目指したい。また、特定の人間に負担が掛らぬよう、運営に関することは、当番制にし、皆で分担して行うようにしたい。

 **「活動を継続して行なうための工夫などがあれば書いてください。**

※ 記入欄が足りない場合は、適宜追加してください。

記入例

(別紙2)

団体の概要及び構成員名簿

団体名	明石いきいき倶楽部		自治会館、公民館をはじめ、個人宅、借家などが対象となります。(通常、公園・海岸等は、想定されません。)	
(ふりがな) 代表者氏名	あかし たろう 明石 太郎			
連絡先	〒673-8686 明石市中崎〇丁目〇番〇号 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 左に同じ			
ホームページアドレス	http://www.akashi.lg.jp			
メールアドレス	http://akashi@m123.000.jp			
主な活動場所	〇〇町自治会館			
活動内容・活動実績	※ これまでに活動実績があれば記入してください。 平成24年5月～サロン開設 健康体操・茶話会など 毎週火曜日 13:30～15:30			
団体の特徴・PRしたいことなど	住宅地のなかにある空家をサロンとしており、入口には通行人の目に留まるよう「誰でもどうぞ」といった看板を掲げており、誰でも気楽に立ち寄れるサロンです。			
構成員名簿 構成員数 (20人)	名前	住所		
	〇〇 〇〇	明石市〇〇町〇番〇号		
	△△ △△	明石市△△町△番△号		
)	
	書ききれない場合は、別紙を添付してください。			

※ 名簿欄に書ききれない場合は、別の用紙(任意様式)に記入し、添付してください。この名簿は、構成員数と市内在住者の全メンバーに占める割合を把握するためにご記入いただくものであり、目的外に使用することはありません。

記入例

(別紙3)

収支予算書 (整備費)

運営費と整備費は別々に作成してください。

1 収入の部

(単位:円)

費目	金額	内訳・積算根拠等
シニア活動応援事業補助金	140,000	明石市からの補助金
合計	140,000	

参加費・助成金・補助金等は、収支予算書(運営費)へ記載してください。

※ シニア活動応援事業補助金は、上限内の金額を記入してください。

※ 収入費目は、シニア活動応援事業補助金だけを記入してください。

2 支出の部

費目	金額	内訳・積算根拠等(詳細に記載)
対象経費	備品購入費	100,000 ワイヤレスアンプ
	〃	40,000 机(1脚)・椅子(2脚)
		以下余白
対象外経費		
合計	140,000	

備品購入費・改修費のみを記載してください。

※ 事業計画書の内容と整合させてください。

※ 応募要項記載の対象経費・対象外経費を確認の上、記載してください。

※ 収入と支出の合計は一致させてください。

※ 対象外経費については、本事業にかかる経費のみ計上してください。

記入例

参加費は、必ず徴収するようにしてください。
助成金などの収入があれば、必ず記入してください。

(別紙3)

運営費と整備費は別々に
作成してください。

収 支 予 算 書

(運営費)

1 収入の部

(単位:円)

費 目	金 額	内訳・積算根拠等
シニア活動応援事業補助金	80,000	明石市からの補助金
自治会賛助金	22,000	自治会より賛助金
〇〇助成金	30,000	〇〇より助成
参加費	60,000	300円×10ヶ月×20人
合 計	192,000	

※ シニア活動応援事業補助金は、上限内の金額を記入してください。

※ 収入費目は、金額の種類（団体負担金・参加料・寄付金など）に分けてください。

2 支出の部

費 目	金 額	内訳・積算根拠等（詳細に記載）
対 象 経 費	講師の講演料	12,000 3,000円×4名
	建物の賃借料	100,000 1,000円×2時間×50回
	光熱水費	10,000 コイン式冷暖房機 100円×2時間×50回
	文具・材料費	40,000 手芸や季節のイベントの材料費
対 象 外 経 費	弁当	20,000
	餅代	10,000
合 計	192,000	

内訳は、計算式（単価×時間×人数・回数等）を記入してください。
書き切れない場合は、別紙を添付してください。

※ 事業計画書の内容と整合させてください。

※ 応募要項記載の対象経費・対象外経費を確認の上、記載してください。

※ 収入と支出の合計は一致させてください。

※ 対象外経費については、本事業にかかる経費のみ計上してください。

(別紙4)

記入例

年 間 計 画 書

事業の実施期間	令和2年4月1日 から令和3年3月31日 まで
主な活動場所	〇〇町自治会館
団 体 名	明石いきいき倶楽部

月	日	活動内容・参加人数等
4月	5日	手芸・パッチワーク 15人
	12日	健康体操 30人
	19日	輪投げ 30人
	26日	ウォーキング 20人
5月	10日	折り紙 20人
	17日	健康体操 30人
	24日	童謡唱歌 20人
	31日	ウォーキング 20人
6月	7日	脳トレ体操 20人
	14日	健康体操 30人
	21日	将棋囲碁 20人
	28日	ウォーキング 20人
7月	5日	公園清掃 15人
	12日	健康体操 30人
	19日	パソコン教室 15人
	26日	ウォーキング 20人
8月	9日	健康講座 20人
	16日	健康体操 30人
	23日	認知症講座 20人
	30日	ウォーキング 20人
9月	6日	俳句・川柳 15人
	13日	健康体操 30人
	20日	ダーツ 20人
	27日	ウォーキング 20人

週1回2時間以上の活動を原則としてください。

月	日	活動内容・参加人数等	
10月	4日	手芸・パッチワーク	15人
	11日	健康体操	30人
	18日	輪投げ	30人
	25日	ウォーキング	20人
11月	8日	折り紙	20人
	15日	健康体操	30人
	22日	童謡唱歌	20人
	29日	ウォーキング	20人
12月	6日	脳トレ体操	20人
	13日	健康体操	30人
	20日	将棋囲碁	20人
	27日	ウォーキング	20人
1月	10日	公園清掃	15人
	17日	健康体操	30人
	24日	パソコン教室	15人
	31日	ウォーキング	20人
2月	7日	健康講座	20人
	14日	健康体操	30人
	21日	認知症講座	20人
	28日	ウォーキング	20人
3月	7日	俳句・川柳	15人
	14日	健康体操	30人
	21日	ダーツ	20人
	28日	ウォーキング	20人